

教えて! Q&A

今日のテーマ



米国

米国株式市場の見通し

Q

米国株はまだ割高？ 年明け下落後の展開は？

A

企業収益との対比では、過去平均からみて割高さはいかががわかりません。原油市場などが落ち着けば、企業収益の拡大に沿った展開が期待されます。

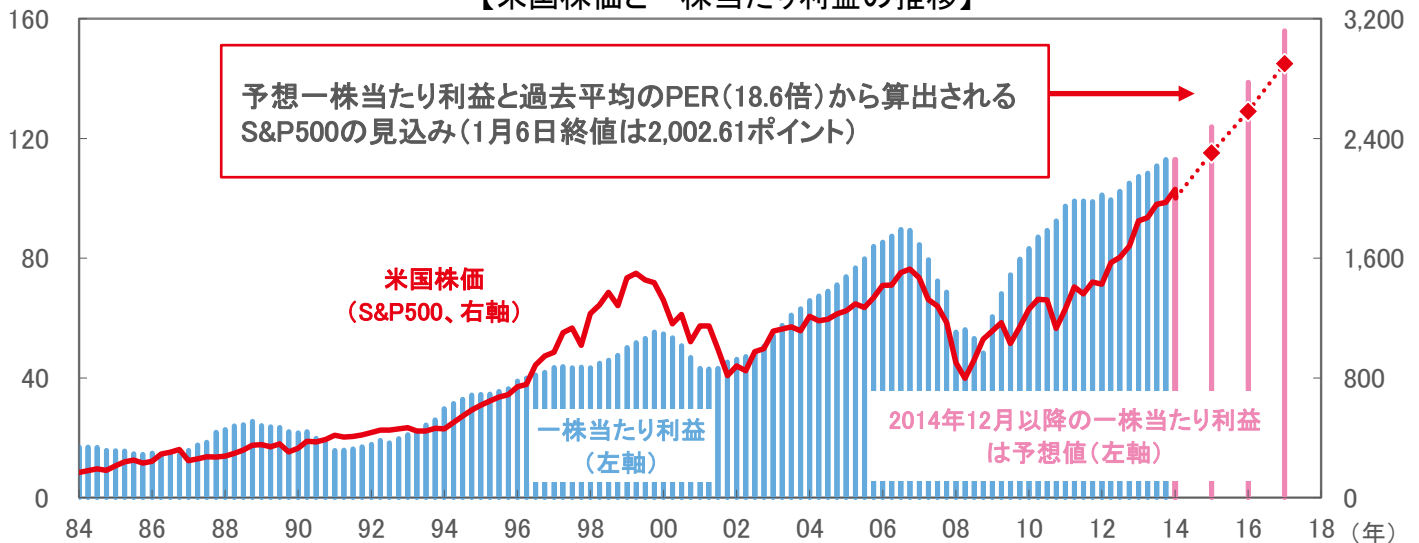
■ 割安・割高を判断する指標のひとつ株価収益率(PER)は足元で17.7倍(1月6日)と、過去平均(18.6倍)と比較して、割高さは見られません。

■ 過去平均程度のPERを前提にすると、株価は予想利益に沿って堅調に推移することが期待されます。

(一株当たり利益、米ドル)

【米国株価と一株当たり利益の推移】

(S&P500、ポイント)



(注1) 一株当たり利益は1984年12月～2017年12月(四半期ごとの12か月分)。予想はBloomberg L.P.による各年末時点の予想。S&P500指数の一株当たり利益を表示。
 (注2) S&P500指数は1984年12月～2014年12月の四半期の終値。ただし直近は2015年1月6日。S&P500指数の見込みは、過去平均の株価収益率(PER、1984年12月～2014年12月の平均18.6倍)と予想一株当たり利益をもとに算出。これは、S&P500指数の構成銘柄に変更がないこと、利益予想がBloomberg L.P.の予想通りとなること、PERが過去平均で推移することを前提に算出したもので、将来を保証するものではありません。これらの前提が変われば、見込みは変わる可能性があります。(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開 原油とギリシャが引き続き主要リスク、基調は利益拡大に沿った株価上昇

■ 年明けの株価下落は、原油安による産油国経済の悪化懸念、ギリシャのユーロ離脱懸念、それらを受けた世界的な景気下振れ懸念などが影響していると見られます。
 ■ 原油安は多くの国の景気にとってプラスと見られ、世界経済への影響は限定的と見られます。

■ ギリシャの財政緊縮路線が転換し、万が一ユーロ離脱となった場合でも、ユーロ圏では金融安全網が強化されていることなどから大きな金融不安へ発展する可能性は低いと見られます。
 ■ これらリスク要因が落ち着けば、企業利益の拡大に沿った上昇基調が期待されます。

■ 当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■ 当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■ 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■ 当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■ 当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■ 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■ 当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。